

ねんどだい かいしずおかしたぶんかきょうせいきょうぎかいぎじろく
2019年度第3回静岡市多文化共生協議会議事録

にちじ ねん がつ にち すい
日時：2019年12月11日（水）18：30～20：00
かいじょう しずおかしあおいくしやうぼうしよ かいぎしつ
会場：静岡市葵区消防署61会議室

なかがわしゆにんしゆじ いま だい かいしずおかしたぶんかきょうせいきょうぎかい かいさい ほんじつしかい
中川主任主事：ただ今から、第3回静岡市多文化共生協議会を開催します。本日司会をつ
とめさせていただきます。だんじよさんかく たぶんかきょうせいか なかがわ ねが
男女参画・多文化共生課の中川です。よろしくお願いいたしま
す。ダヴィさんがすこ おく 遅れるとのことですが、このままはじめさせていただきます。それで
は開会にあたり、だんじよさんかく たぶんかきょうせいかちやう くぼた あいぎつもう あ
男女参画・多文化共生課長の久保田よりご挨拶申し上げます。

くぼ たかちやう みなさま いそが つか あつま
久保田課長：皆様、こんばんは。お忙しいところ、またお疲れのところお集りいただき
ましてありがとうございます。みなさんニュースで見たかもしれませんが、ことし 6月 にほん
全体の ざいじゆうがいがいこくじん かた 282万人で最高を記録したというニュースがありました。でも
人口のたった2%なんですね。がいがこく みわた してみるとまだまだがいがこくじん ひりつ おお くに
外国を見渡してみるとまだまだ外国人の比率が多い国もた
くさんあります。さいじん フィンランドの首相が女性で34歳と若い方がなつた にほん
最近フィンランドの首相が女性で34歳と若い方がなつた日本でも
わだい 話題になっていましたが、いましずおかし きやうせいしやかい たすうほ
今静岡市では共生社会、多数派マジョリティーの人とマイノリ
ティー少数派の人が共に仲良く暮らしていくというきやうせいしやかい めざ
共生社会を目指しているということ
で、そのなかにはこのかいぎ しよう たぶんかきょうせい にほんじん がいがこくじん かた
会議の様に多文化共生、日本人と外国人の方、そしてこうれいしや
高齢者、
しょうがいしや だんじよ だんじよ ひりつか
障害者、あるいは男女、男女といっても比率化すれば50%50%ですが、まだまだそこに
きべつちやう があり、そのきべつちやう すこ 差別を少しずつかいしょう
差別等があり、その差別を少しずつ解消していきたいというのがしずおかしぜんたい ほうしん
静岡市全体の方針です。
おお ほうこうせい なか みな きやうりく 大きな方向性の中で皆さんにご協力いただいているかいぎかい
協議会ですが、少しずつ日本人の方
がいがこくじん かた にちじやう せいかつ なか とちよ くとく
と外国人の方が日常生活の中で共に暮らしていけるようになれば、にほんじん いしき すこ
日本人の意識も少し
づつ変わっていくということで、たぶんかきょうせい だけではなくていろいろな分野でマイノリテ
ィー少数の方をいしき 意識して一緒に仲良く暮らしていけるといういしき すこ
意識が少しずつ向上するの
ではないかと かんが えております。ほんじつ ぜんかいみなさま きまぎま いげん
今日は前回皆様から様々なご意見をいただきました。本日
はさらにそのいげん ふか みな いっしょ かんが 意見を深く皆さんと一緒に考えていきたいと思
っていますので、どうぞよろ
しくお願いいたします。

なかがわしゆにんしゆじ ほんじつ かいぎ ぼうちやう こうかい かくにん
中川主任主事：それではここで本日の会議の傍聴および公開について確認をさせていただきます。
しずおかし ふぞくきかん かいぎ げんそくこうかい かいぎ ぼうちやう
静岡市では附属機関の会議は原則公開となっておりますので、かいぎ ぼうちやう
会議の傍聴および
かいぎ こうかい 会議録の公開につきまして、ご承知おきください。ひこうかい じこう
非公開とすべき事項が生じましたら、
そのつど、そのむね けつてい 会議の進行をさせていただきます。それではしずおかしふぞくきかんせつちやうれいだい じやう 3項
では会長が議事を務めることになっておりますので、これよりぜんかいちやう ぎじ 進行をお
ねが ぜんかいちやう ぎじ しんこう
願いたします。全会長、よろしくお願いいたします。

全会長：それでは議事に移ります。事前に皆様に郵送でお知らせしてありますが、本日の協議内容は、前回のグループワークで出た意見を掘り下げること、また、新たな意見を出しあうことを行なっていきたいと思っております。初めに、本日の協議内容について、事務局から説明をお願いします。

望月課長補佐：こんばんは、説明させていただきます。前回2回目の協議会で3つのグループに分かれてグループワークを行なっていただきました。そして静岡市の課題や足りない取組等を話し合っていたところですが、それをまとめたものが資料4です。いただいた意見を簡単にグループ分けさせていただきました。防災、教育・母語、地域とのつながり・交流、就労、情報、その他と分けております。それぞれの項目についてお話をさせていただければと思います。皆さんやはり防災とか教育の項目が多くなっているようですが、この意見をそのままではなく、また補足をしていただいたり、新たにそれにつながる意見を出していただいたり、全体的に意見を深く掘り下げいただければ助かります。また、既に行なっている事業に対してもっと改善したらという意見でも構いませんので、次回第4回の時に提言を作成するテーマを絞り込む作業を事前にするものになりますので、積極的に意見出しをお願いしたいと思います。まずは一つめの防災から順に先にカテゴリごとに簡単に説明させていただき、その後10分程度を目安に協議していただければと思います。よろしくお祈りします。それでは防災から、市がやっている事業を皆さんの意見を基に紹介させていただきたいと思っております。

防災：1から7までご意見をいただいております。まず1番ハザードマップなど防災情報を広める必要性あり、外国人でも確認できるよう周知をしてくださいと、コンビニに貼るなどしてはどうかという具体的なお話までいただいております。今の市の状況ですが、危機管理課がハザードマップの管理をしていますが、残念なことに多言語でできていない状況です。ですのでこれを出していただくのは意義が深いと思っています。具体的には言語の翻訳が今まったくされていませんので、どれにすべきか、やさしい日本語なのか、英語がいいとかそういったご意見をいただければ助かります。あとはコンビニに貼るなどしてはどうかというご意見をいただいておりますが、今市は企業と連携するということも取り組んでいて、コンビニと協定を結ぶことが今後あるかもしれませんから、現実離れしたものではありませんのでご意見をいただければ助かります。次に2番、4～7番は地震のことが書いてあります。皆さんの所に配っている静岡気分、これは広報誌なんですけれども、防災特集はやっているんですね。この部分は外国の方については国際交流協会と当課の国際交流員・相談員が協力して5言語で情報誌を作成しております、全てを網羅する事はできませんが一部必要な所を外国人向けの情報として防災の情報も加えて外国語版広報誌として外国人が集まる所に送付しております。3番多言語での防災メールの発信、この部分は今危機管理課と協議をしております、今の状況は日本語だけなんです。それをせめてやさしい日本語または英語でやってくれないかということで、業者さんとお

話をしているところです。近いうちにどちらかの言語ができるのかなと思っております。
以上、防災についての取組を市から説明しました。

全会長：ありがとうございます。それでは、10分間防災について協議に入っていきますが、その前に、資料4の防災についての内容をご覧になりまして、前回意見を出した中で、まだ補足したいものなどありましたら先に伺いますが、いかがでしょうか。

福井副会長：これは南米人が主に多いのかもしれませんが、私の国の人は地図を見る習慣が無いんですね。地図を見ながら動くということに慣れていない。ハザードマップもそうなのですが、マップを買っても今自分がどこで、避難所がどこだから、どう動いてどこに行けば良いかが地図で分からないのが現実なんですね。それについて何とかできないのかと常に思ってるんですけども。

朴恵善：スマホでもわからないですか、今若い人達はどこに行っても。

福井副会長：グーグルマップが今一番なので、それとハザードマップを重ねることができていないので、例えばハザードマップでQRコードが読み込めるとか、そこからグーグルマップが出て来て自分が今どこにいるとか、何かそういうアイデアがあったらいいなと思ってるんですけど。

全会長：ハザードマップも発信方法の一つのことだと思うんですけど、今ハザードマップに対してQRコードはどうかという意見がありましたが、いい案だなと思いますが、他にありますか。

朴恵善：アプリがあればそれをセットしておけばいいですね。

福井副会長：アプリを私達外国人が自分たちの言語でみんなに周知していかないとけないというところもあったりするので、アプリがあってもそこでストップしたらあまり意味の無いものに。

朴恵善：それをまとめてどう発信するかですね。でも一応アプリがあればいいですね。

福井副会長：発信していくためにですね。

全会長：防災メールは今日日本語だけ対応していて、これからどうしようかと考えているということでしたけれども、こういった言語をお願いしたい等ありましたら意見を出して

いただければと思います。

叢潔:カタカナ・ひらがなで情報を発信するとか、

全会長:やさしい日本語とかですね。

ビハン ダヴィ ピエール:やさしい日本語っていうのはどういう風に、誰に対してやさしいんですか。どの外国人に対してやさしいんですか。

全会長:日本人以外の外国人に対してということで、私も詳しくはないんですけど、ご存じの方いらしたら説明していただきたいんですが。

ラクスマ デワヤニ:例えば避難じゃなくて逃げてくださいますとか、分かりやすい言葉で。

ビハン ダヴィ ピエール:例えば中国人だったら漢字が多いほうがやさしいじゃないですか。日本人の子どもだったら「ます」系じゃなくて、「食べます」じゃなくて「食べる」にしたほうが分かるじゃないですか。外国人は「ます」から学ぶんですよ。なので逆に「ます」を増やしたほうがやさしい日本語になるんじゃないかなと。

福井副会長:「ます」というより、例えば防災で揃えないといけないものに「飲料」って書いてあったりしますよね。「飲料」って何というのが普通の外国人。「水」とか「飲み物」と書いてあると分かりますよね。そういう書き方ということです。

ビハン ダヴィ ピエール:分かりました。

全会長:今日本ではやさしい日本語についてはたくさん研究がされているので、どういう風に日本語を使うと外国人の方によく伝わるかとやっていますので、そのところは大丈夫じゃないかと。今私がやさしい日本語と話しましたが、実際のところまだどんな言語にするかは静岡市で検討中だと思いますので、是非これを入れていただきたいというのがありましたら。

ビハン ダヴィ ピエール:今対応している言語は何ですか。

全会長:今はまだ日本語だけです。

朴恵善:まだやさしい日本語にもなっていない状況ですか。

もちづき かんじょう ぼく さい
望月課長補佐：ハザードマップについてはまだです。

ぼく へそん かんじょう おお
朴恵善：漢字が多くてやさしい言葉になっていないということですね。そこからですよ
ね。第一番は。

だかはたさち げんざい がいこくご な
高畑幸：現在外国語がまったく無かったら、まずは英語。英語を全く勉強せずに日本に
来ている人はそんなにいないんじゃないかな。どこの国でも学校教育で英語をちょっとは
教えているんじゃないかな。

ぜんかいちよう
全会長：おそらくメジャー言語はある程度対応してくださると思いますので、それに対し
ていつもだったら入っていない言語、静岡市にはベトナムの方が増えているので、ベトナム
語を入れるというのは考えられると思います。

ほりうち ありっせ いずみ
ホリウチ アリッセ イズミ：ハザードマップの地域の地名はローマ字にすればどの国の
人でも分かりやすいかなと。標識や地名の漢字とかを。

ぼく へそん ちめい にほんじん
朴恵善：地名は日本人でも読めなくて分からない人がいっぱいいると聞きます。町名と
か。でも外国から来たばかりの人はローマ字よりはアルファベットで発音を書いたほうが
読みやすいですよ。

びはん だヴィ ピエール
ビハン ダヴィ ピエール：ローマ字はアルファベットじゃないですか。

ぼく へそん
朴恵善：すみません、ふりがなと間違えました。

りじゅうろう まわ がいこくじん わり おお
李重楼：周りの外国人に割と多いので、例えば日本に留学している人はシンガポール・マ
レーシア・フィリピンの人しか英語が得意ではないので、日本語のほうが得意かなと。
がいこくじん がつ な が
外国人にとっては読み仮名をつけてくれれば分かりやすいです。もしどうしても分からな
かったらインターネットで調べていただければと思います。日本語はオノマトペとか
ぎたいご ぎせいご こま
擬態語・擬声語が困っています。「差し上げる」などは使わないほうがよい。日本語学校
にいた時はクラスの中に東南アジアの留学生が多くて、みんな作文を書く時は中国人は
みんな漢字が分かる、文法が正しいかどうかは別のことですが、東南アジア系の人は漢字
があるにもかかわらずカタカナやひらがなで書いてる人が多くて、読み仮名を付けていた
だければ簡単だと思います。

びはん だヴィ ピエール
ビハン ダヴィ ピエール：印刷される物もあると思いますが、ネット上の物もあります

か。

全会長：あると思います。

ビハン ダヴィ ピエール：そしたら、グーグル翻訳の機能でどんな言語でも訳せるので、印刷の物ほどの言語にするか選ばなければいけないけど、ネット上の物ほどどんどん追加してください。100%正しくはないけど、無いよりはいいと思いますので。

全会長：言語に関してはやさしい日本語が一番よくて、あとは英語と。

李重楼：今は外国人も日本人もそうですが、新聞を見るより毎日携帯をいじっている人が多いので、こういう資料の下に、もしどうしても分からなかったらここへとQRコードを付けるとかしてくれれば、緊急の時は皆慌てて忘れてるので。

山下メリンダ：英語とやさしい日本語どちらがよいかアンケートを取って調べて欲しいです。

李栄元：この前の台風の時ハザードマップを初めてインターネットで市のホームページから入って確認したんです。がけ崩れの件を確認したんですけど、非常に分かりづらかったです。自分が住んでいる所のがけ崩れの危険度が網かけや模様でマップに書いてあるが日本語が分かる人でも非常に分かりづらかった。何々地区というくくりになっていて、自分の番地で探そうとしてもそれでは探せないです。

全会長：探せないし、ものによっては違っていたりしますね。私もその時に経験しましたけれども。

李栄元：もっと簡単に番地ですぐに探せるような、自分の住んでいる家が山の近くだったら多分微妙だと思えます。拡大して拡大してやっと見えたんです。まず普通にもっと見やすく探しやすいしていただくのがまず先決かなと考えました。

ラクスマ デワヤニ：留学生の相談者から自分に一番近い避難所が分からないという相談が多かった。アプリを見ても漢字で書いてあるので読めない留学生が多いので、英語とかだったらいいなと思いました。

全会長：今聞いて思ったんですけども、皆さん外国人の方が台風や災害があった時に、まず見るのはスマホということですね。そうすると、先ほどのアプリがあればそこがうま

くいくといいのかなと思いますね。

福井副会長：相談者からも私のところに来るのは全部Facebookのメッセージかラインで来るので、そのままQRコードを送れば一番楽かなと。

全会長：あとはその周知ですね。コンビニに貼る等の周知方法の意見を出していただいたようなので、今10分ちょっと過ぎましたので、このぐらいで今回は打ち切っていきたいと思います。その次の教育・母語に関して移っていきたいと思います。事務局からよろしくお願ひします。

望月課長補佐：まず1番ですけれども、学校で母国語を勉強しながらというのは日本の教育の中で静岡の教育委員会ではやっていないです。日本語の指導教室はあるので、お話ができない様な方については指導教室をご案内しています。2番の学校、親、教育委員会のギャップ、これは学校ごとに多分私の理解の中では親と子供達の連絡帳だとかメールで配信はやっているが、もしできない場合は学校教育課という所に適応相談という事業がありまして、通訳者を派遣する事業を利用することができます。3番の親を対象とした大学進学ガイダンスは、今市役所の実務の中に大学の部分は無くて、県か大学になるんですけれども、基本ガイダンスについては市ではやっていないです。高校進学ガイダンスまではやっております。以上が市がやっているところになります。

全会長：今教育・母語で6項目上がっていますが、何か補足したい方がいたら、自分が書いた意見とはちょっと違う形で上がっているよとか、ありましたら合わせて伺いたいと思いますがいかがでしょうか。

福井副会長：感覚として、1番の学校の授業の中で母語をやってもらうのはかなり厳しいことだと思うので、これを発信した時の私の中での考えは、クラブみたいなものがあるって、放課後に例えば南米だったらスペイン語のできるお母さんとかお父さんが来て、ちょっと母語を教えていただく。同じ国の人達、同じ言語を習いたい人達、もしくはそこに交流があってもいいのかなと思うので、日本人の子ども達もスペイン語を習いたいよと言ったらそこに来てクラブに入ってもらってやるという方法があったら理想だなと。母語を忘れて欲しくないのもひとつ、自分のアイデンティティーを残していくためにも、母語は勉強してもらいたい。でも親が自分の子どもだけに教えるのは結構難しいところがあって、私は短気なのですぐ怒ってしまうし、「この前言ったのになんで分からないの」とすぐ言うところがある。それが、いろんな人達がいると、もうちょっとやさしく教えていけるのかなという気持ちになれるので、そういうのが有ってもいいかなと思います。

朴恵善：そうですね。日本の学生にとっても外国語に触れるいいチャンスだと思います。外国の文化に触れることにもなりますし、勉強だけではなくて、私も実は韓国語を教えているんだけど、文字だけを教えるのではなくて、どうしても言葉を教えながら、韓国の文化を話しているんですね。ここは日本と同じだけど、これは違うよとか。言葉を教えるも広い面では国のことも分かるようになるので、小さい子どもにも刺激になりますし、日本に居ながら国際的な感覚に触れられるのは日本の学生にも良いし、外国の子にも自分のアイデンティティ的な面でも前向きになれて、良い方向になるとと思いますから。クラブを毎日やると暑苦しいんですけど、一ヶ月に何回とかにして、今月はスペイン語だけど、来月は何語だから、その時だけ興味が有る子は参加していいよというのでもいいかなと思いますね。

ラクスマ デワヤニ：学校でクラブの様にできたら私もよいと思っています。それプラスこの前の様な街の中でのイベント、わいわいワールドフェアの様な外国人の子ども達が各国のイベントとか集まって楽しめる所があれば、みんな来るんじゃないかなと思います。大人だけではなく、子どもたちも楽しめると思います。

福井副会長：もっとイベントがあって欲しいですね。回数が年一回では少なすぎる。

ラクスマ デワヤニ：そこに親子も一緒に参加したければ、お母さんとか興味があればどうぞって言えますし。

高畑幸：児童館や公民館の活動としてやるのもありかなと。

朴恵善：私は市からの連絡を通じて中学校や子どもが小学生の時は小学校から、国際交流の一つとして韓国の話を聞かせてくださいと言われて一時間ぐらいやったことがあるんですね。子どもの年に合わせてやるんだけど、食文化とか、韓国の服を持って行って着せたり、軽い話なんですが、韓国は一番日本と近くて食文化も近いし米を食べるのに、韓国ってポテトチップあるんですかってびっくりする子もいて、あまりにも分からなさすぎて、逆にあーそうなんだと思って。家族で海外旅行にいっぱい行く子もいれば、そうじゃない子もいますし、韓国に対してすごく遠いと思っている子もいるんだけど、それを小学校・中学校生は単純に興味を持つから、そこでいろんな外国の方を呼んで、単発で終わるものでも、いろんな国をやる授業を増やせばと思います。ちょっとしたきっかけで子どもは留学に行きたいとなったりしますし。

李重楼：僕の友達にはダブル背景がある人が多いです。日本とインドネシアのハーフとか、

ブラジルの方とか。日本で友達とこういう話があったんですけども、すごく大きな問題は自分のアイデンティティーを恥ずかしいと思う人が多い。大学に入ったら大丈夫なんですけれども、小学校から中学校・高校生は、私は在日とか日系ブラジル人とかを他の人に知られたくないと思う人が多いです。例えば僕の友達なんですけど、お父さんがアメリカ人、お母さんは日本人、お父さんとは家で英語の会話が全然大丈夫なんですけど、他の日本人の学生に合わせてわざと日本式の英語を喋っている。こういう人が多くて英会話がますますできなくなっている。喋ったら、ああこの人は日本人ではない、アメリカ人だとか。わざと日式英語を喋ったりとか。中国だとどちらかの親が外国の背景があったらプライドを持つ人が多いです。日本ではコンプレックスに思っている人が多いので、いじめられたりとか、笑われたりとか。今良いことは、日本政府が外国でかっこいい日本文化をアピールしている。小学生とか中学生の子どもは日本の文化しかかっこよくないと思ってしまう人が多い。もし親が外国の方で、定期的に小学校・中学校・高校で自国の文化をアピールしたりしたら、子どももお父さんやお母さんの国をカッコよいと思うかもしれない、もう一つの文化にプライドを持ち始めると思うので、幼い頃からもう一つの言語を勉強する意思が芽生えると思います。

ビハン ダヴィ ピエール：今の話を聞いて思い出したんですけど、どちらかの親が外国人の子を日本語でハーフと言うじゃないですか。ハーフというのは50%、本当は200%なのでハーフじゃなくてダブルという言い方にして欲しいんですね。ただの言葉だけと思うかもしれませんが、もっと大きな考え方の問題に関係しています。子供達が自分の父母が外国人であることを恥じているところがある、自分がハーフだと知られて欲しくないから。自分がダブルだと気づいていたら、逆にプラスだったらみんなに知って欲しいですよ。そしたらみんなプラスになるんですよ。

朴恵善：私の子どもは純粋な韓国人でずっと日本の教育で育ちましたが、基本的に日本の社会は自立つのがあまりよろしくないという見方があるから、子供達が後ろ向きになるんだと思います。一番敏感なのが小学生高学年から中学生です。高校生になると落ち着くんですね。特に女の子は敏感なものもありますね。男は考え方がシンプルなので女の子は思春期がそれで、外国人だけじゃなくても日本人の子でも、自立つのはよくないと見る面が日本社会ではすごくある。悪い面で自立つのははしかるべきなんだけど、あの子は勉強もできて語学もできて、なんでもできればすごく拍手してあげてやる気を伸ばしてあげるのが良いと思うのに、逆にあんまり自立つのは「なんかあの子おもしろくない」とか言って、それで仲間外れにするような。基本的に日本の社会はみんなと一緒にやるのが大事な社会なんですよ。一人が自立つのではなくてみんな一緒に力を合わせて、それはすごく必要で大事なことなんだけど、たまにそれが悪く現れる部分があって、日本の子ども優秀であの子褒めてあげればもっとやる気が出るのに、周りがそんな目で見るとあまり

外に向かって歩き出せない、その能力がもっていないかと思っただけです。日本も世界に向かってグローバル化の中で、日本人も自立つものものによってはすごく良いことで褒めるべきと考へたほうがか日本のためにもよいと思っただけです。それが無ければ子供もそこまで敏感にならなくて済むと思っただけです。

福井副会長：私は日本に来て21年になるんですけど、うちの子供が小学校に入る時に市役所からお母さんの名字にしてくださいと聞かれたんです。「えっ？」と思っただけです。私もその時何も考へずはどうしてですかと聞いたら、いじめにあつたらかわいそうだからって直に聞かれました。私はそのまま「はい分かりました」と言っただけで息子を私の名字に変えて福井で学校に入りました。でも見た目がハーフというか外人の顔しているんです。誰が見ても分かるんです。いじめって見た目とかそういうところじゃなくて、結果彼が持っているもので合うんだなというのが分かりまして、娘の時も同じことを聞かれたんですけど、いいえ娘はそのままの名字で行かれますと言ったら、今度は逆に兄弟で名字が違ふと言っただけでいじめられまして、またそこでいろいろあつたんですけど。でも、日本の考へ方のこうじゃなければいけないというものに、いつの間にか私達もはめられていくんだなというのに直面したことがありました。あと、もう一つは来た当時は日本もまだ本当に外国の人達にあんまり慣れていないということもあって、今は変わりましたが色鉛筆も肌色というのがあつた。あの当時の様にそれが当たり前だつたことが、外国人が入つて来ることによって、そうじゃないんだと気づいていく所もあつて日本もいっぱい変わつてきているので、変わつてもらふ為には、私達が一生涯懸命発信していかなければ気がついてもらえないので、是非こういう場で声に出して欲しいと思っただけです。

朴恵善：うちはそう聞かれたことが一回もないんですけど、黙つていれば日本人に見えまふから、韓国の人は。

長阪有美奈：風邪を引いているので声が聞き取りにくいと思っただけですが、すみません。お願いしまふ。こちらの4番と5番は私が出した気がするので、その話題をここで補足させていただきますと思っただけです。4番は行政が関わるべきというのは、英語の幼稚園のそもそも意味あいは外国人だけに携わる問題ではないんですけど、認可をきちつと取つた上での幼稚園であつて欲しいと思っただけです。悪く言つると、英語を喋れるだけで先生になるんじゃないかと、本当に先生の資格を持っている方に幼稚園で業務を担つていただきたいと思っただけです。それは全体的な問題で外国人だけの問題ではないと思っただけです。日本人にも関わる問題、ちょっとここはわかつたにくくなつてきていると思っただけです。5番は私自身がすごく悩んでいた問題ですが、簡単にまとめますと、ハーフだろうがダブルだろうがトリプルだろうが、もう生まれている子供なので、親としては一番良く育てていきたい。例えばうちの幼稚園の話をする時、うちの子はすごく言葉が混ざつていたんですけど、園長先生とお話

した結果、どうしますかとお母さん決めて下さいと、母語はひとつしかないから、日本語にするのかロシア語にするのかすごく悩んでいたんですけど、日本で育てていく上ではロシア語を母語にしたほうがうまくいかないんですよ。悲しいけど、早い段階で親が決めるべきなんです。市の外国人向け研修会・講習会等の早い段階で親に対して子どもの母語はどうしますかという説明会というか、いろんな情報を提供していただいて、あとはもう親が決めるべきなんです。親が英語を母語にすると決めたらあとはどうぞ頑張ってくださいと、それは個別の話ですから。私は散々ロシア語と言っていたのに、結局子どものために日本に住んでいく上ではきちっと日本語の教育をしてあげないと、それこそいじめにも遭うだろうし、可哀そうだし。ロシア語何とかバックで頑張るけど、でも日本語で承諾したんですね。それはいろんな情報の提供もあったし、園長先生の丁寧な説明もあったし、心配してくださるのも伝わったし、それは私が決断したんですね。他の母語で生活している親の方には幼稚園に入った段階ではなく、なるべく早めにそういう講座を開いて欲しい。こういう育て方をすればこういう可能性が出てきますよと、良い例・悪い例も出していただいて、あとはもうその情報を元に親で決めてくださいと。あとは自分の方針で進めてくださいと。ごめんなさい、すごい失礼なコメントかもしれないけど、私の個人的な意見なんですが、いじめの確率は地方に行けば行くほど高い気がする。ごめんなさい、本当に失礼な意見なんですけど、だから何を言いたいかというと、ぜひ静岡をもうちょっと都会化させましょうよ。静岡はそんなにそこまで田舎じゃないから、いじめの確立を下げるためにもっと都会にしましょうよ。例えば名古屋・東京・大阪に行ったら、インターナショナル学校は置いておいて、結局私は見た目が白人だから、東京・名古屋に居た時は皆あまり反応しないんですね。静岡はまだ反応するんですね。そこからすべて始まっているので、人口増やしましょう・白人増やしましょうじゃないですよ。多分ダヴィさんもそういう経験あると思うんですけどね。「ウオッ！」という所もあれば、全然何も反応しない所があるので、そういう差がまだ日本国内ではあるんですね。ですからこういう協議会があるからこそ、静岡でそういう問題率が下がっていくように頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

全会長：今教育のことで母語をどちらかに決めなくてはいけないという話を聞いて私びっくりしたんですが、それに関してはまた後で。

長阪有美奈：講習会や情報提供があれば、たぶん悩んでいる親はいっぱいいると思うんですよ。間違えてたらそのままいってしまうから。

全会長：おそらく、皆さん静岡・日本で子育てをされている外国人の方たちは多かれ少なかれその問題には直面しているもので、きっちり決めてしまうことには色々な意見があると思えます。

長阪有美奈：決めるのはその家族だと思っんですよ。個人的なことですから。うちの幼稚園の園長先生がどうしますかと聞いてきたんですよ。強制的じゃないんです。お母さんどうしたいですか、ひたすらロシア語で話しかけてるから、どこかで決めてくださいと。ロシア語やめてとかいう話じゃないですよ。子どものためにも分けてあげたほうが。

全会長：それとさっきの母語と日本語の教育の話とがぶつかっていくと思っんですけれど。

長阪有美奈：親が整理できていれば子どもの混乱は少なくなると思う。親が整理できていなくてあれもこれもとなると一番落とし穴だと思います。

野田敏郎：親後さんはどうやって情報を受けるんですか。どうやって育てたらいいというのは、尊とかで聞くんですか。

長阪有美奈：そういう体制整っていないと思っんですね。みんなそれぞれ自分の考えとかあちこち情報を得たり。だからこそ、そういう機関から話があったほうが。

野田敏郎：専門の話で言うと第二言語習得という理論的なものがあるんですけど、あくまで理論は理論なので、どうやって育てたら。

長阪有美奈：そうですね。正解は無いですよ。

福井副会長：決めるのは逆に私は怖いです。

朴恵善：私も一個に決める考えは全然無くて育ちました。

ビハン ダヴィ ピエール：親の日本語能力にもよりますよね。

野田敏郎：いろんな要素があるということですね。

長阪有美奈：いや、方針ですよ、方針だけ。

全会長：最近それこそ今聞いたように、行政のほうから日本語で育てて下さいって話を最近何回か聞くようになってびっくりしたんですけど、そういう話を聞く反面、専門家の人達は第二言語習得のための方法論、理論もあるし、実際は言語を習得するかしな

いかのアイデンティティーの問題だと思っんです。私はそう思っているんで、どうやっていくのかは今後もっと掘り下げて話していきたいなと思っいます。皆さんちょっと考えていただけたらなと思っいます。

長阪有美奈：はい、結構大きなテーマなので。

全会長：次に移りたいと思っんですけど。

叢潔：さきほどの話ですが、福井さんの子どもの名字のことと、長阪さんの子どもの母国語のことは、どちらも自分の子どもが学校でいじめられないように配慮して、選んだ結果だと思っいます。日本の学校はどちらかという、みんなが普通が一番良いという、ちょっと違くとすぐいじめの対象になるというのが、どうしても今の事情なんですけど、さっき言ったように韓国研究会とか学校でクラブを作っていれば、もうちょっと多文化に触れる機会が広がっていけば、それはだんだん良くなると思っいます。

全会長：はい、ありがとうございます。結局、行きつく所はいろんな文化に触れているし知っていくということから始まるんだなと思っいます。

ビハン ダヴィ ピエール：僕の子が生まれた時に、僕の名字にしたかったんですが、お母さんの名字じゃないといけなかったんですよ。そういうルールがあるみたいで、法律的に日本人の名字にならなければいけない。外国人の名字にはなれない。

朴恵善：えっ、そうですか。お父さんの名字じゃダメですか。

ビハン ダヴィ ピエール：フランスでは基本的小お父さんの名字になるんですよ、子どもは。

全会長：戸籍の関係ですね。外国人は戸籍がないけれども、日本人は戸籍があって、その戸籍に子どもが入るから日本人の名字が必要だということですね。私達持っていないじゃないですか。

ビハン ダヴィ ピエール：自分の子どもが生まれた時に出生届を藤枝市役所に出しに行ったら、僕の名字にしようと思ったらそれはできませんと言われて、お母さんの名字になったんですね。ちょっとびっくり、自分の名字にしたかったのに残念。

福井副会長：帰化したら大丈夫ですし、いくつか方法はあります。現在のダヴィさんの

状況ではそれしか方法がなかったのかもしれない。

叢潔：福井さんと長阪さんに聞いてみたいんですが、みんな家に帰ったらどの言語で会話してるんですか。

福井副会長：私は両親二人とも日本人でパラグアイで生まれ育ちました。向こうにいた時に子どもは二人ともパラグアイで生まれて、パラグアイで育てるつもりで日本語を覚えて欲しくて、パラグアイで生まれた時から日本語オンリーで子どもに話してきたんです。そのまんま日本に来てしまったので、自分がスペイン語に切り替える事ができない。お父さんはスペイン語で話します。子どもは怒られる時だけスペイン語だと思っているので、スペイン語は怒られる言語だと思っています。言われていることは理解します。返事は日本語です。

叢潔：聞いて分かるけど自分から発信するのは難しいですね。

長阪有美奈：まだ小さいので、私と一緒に話す時はロシア語、外に出たら日本語なので、第三者が関わらない時はロシア語、公園で遊んでいる時は周りの人が分からないので、日本語に切り替えています。小さかった時は二人でロシア語ばかり話していましたが、これからもママとの会話はロシア語にしようという方針にするつもりです。

叢潔：一つ未熟な意見なんですけど、学校に通うんだったら日本語の勉強が大事とされていて、二つの言語を同時に勉強するのは大変苦労すると思います。

長阪有美奈：ほぼ無理だから決めなきゃいけない。作文とかいろいろ問題が出て来るからそれはものすごく難しいこと。

全会長：それについてはまたあとにしましょう。次にうつりたいと思います。ありがとうございます。地域とのつながり・交流ということで4項目上がっていますが、補足がありましたら挙手・発言をお願いします。すみません、望月課長補佐、説明をお願いします。

望月課長補佐：地域の交流が進んでいないところだと認識していますのでご意見をいただければと思います。ご存じのとおり町内会の勧誘が静岡市は多言語でできていません。日本語でしかも漢字ばかりのものが渡されています。それに町内会ごとに内容が違うんですね。ですので、全体の説明ができないんです。町内会ごとに例えばお祭りがあつたりとか、清掃の行事があつたりとか、無い所があつたり、あとは金額が全然違つたりとか。

町内会ごとのお祭り等を市が把握してないんですね。自治会町内会は独立したところで運営が任されているので、そこが独自にやっているんだけど、地域の内容は上のほうは分からないです。その自治会長だけが把握している。つながりが難しいというのはやはりそのとおりなのかなと。母国語で交流できるサロンのような場所は、今は静岡市には設けていません。以上です。

全会長：何か町内会に関してありますか。

高畑幸：ちょうど私が県大で持っている授業でそういうテーマを扱っていて、この間福井ユミさんに授業に来てもらったばかりなんです。現状の町内会のありかただったら外国人が入って行きづらいところがあるので、町内会の運営そのものを簡単にするということが一つと、町内会の今の役員さんの中でそこに住んでる外国人をウェルカムする係を決めるとかしたほうがいいんじゃないかと思えます。それぐらいやっぱり大きな壁があるなど感じているので、むしろ町内会の方から働きかけて外国人をもっと積極的に中に入れていくという点がひとつ。あとは磐田市がやっているんだけど、国際交流協会が企画して外国人の住民の方と町内会長さんと一緒に喋るイベントをやっているんですね。町内会長さんの研修会に合わせて、いろんな国の人をそこに呼んで4人ぐらいでグループディスカッション。そういう形で話すチャンスをつくって、そして次に近所で会ったらこんにちはというつながりをつくって、そういう仕掛けもいかなと思いました。

全会長：ありがとうございます。今のご意見を聞いていかがでしょうか。

朴恵善：私も町内会に参加して委員もいろいろやりましたが、最初あんまり日本語でできない人は正直まだ無理と思うんですね。そんなに細かいことは分からなくても、運動会参加とか、地域の祭り参加とか、細かい内容が分からなくてもできるものがあれば町内会長が、新しい人が入れば名簿が町内会長にいきますから。自治会に入るのは自由なんですけど、日本人でも入らない人もいますよ。私は最初に日本に来た時埼玉に住んでんですけど、そこでは町内会の存在を知らなかったんです。誰も知らせに来た事がないですね。静岡に来てから地元愛があっという間いろいろ協力・誘いがあって入ることになったんですけど、最初は分からないから面倒くさいなというのがありますが、役に立ったのは、一軒家の家が多い時に、近所の子どもの親しか知らない時に、町内会に入るといろんな世代に人達の顔を知るようになっていて、例えば地震・津波とか、変な人が付いて来た時に子どもが逃げる家の看板が出ている所がいっぱいあるじゃないですか。それがきっかけで近所の人達の顔を知るようになって、そのほうが外国人も馴染みやすいと思えます。最初引っ越して来た人の名簿が来たら、自治会長は言葉がそんなに得意じゃなくても自治会がやっている行事を知らせて、言葉ができなくても参加できるものとか、そんなことだけで

も最初知らせる必要がある。手を伸ばすべきだと思います。外国人にしたら自治会という存在が無い国の人もいっぱいいますから。そうすると外国人も慣れやすい。

全会長：そうですね、そういった意味で今高畑先生がおっしゃったように、行政で町内会の人に対して何かフォローがあったらいいんじゃないかと思えます。それについてまた皆さん意見があったら考えて来ていただきたいなと思えます。ありがとうございます。では、その次に移りたいと思えます。次は就労という形で上がっていますので、これについて事務局からお話していただいてよろしいでしょうか。

望月課長補佐：就労の部分は、今日は時間が少ないということと、就労で市に展開するものが無いものですから、国・県・ハローワークになってきます。後で時間が有る時にお話をさせていただいて、ご意見をいただいた所をこちらから県・国に意見要望として出すという形にしたいと思えます。今回この部分は抜かせていただいて、次回また検討いただければと思えます。

全会長：時間が押しているのです、今日は、テーマ別はこのぐらいにしまして、この後情報とその他という形でいろいろ上がっていると思えますので、今日ぜひこれは話しておきたいよというのがありましたら、挙手してお願いしたいと思えます。

朴恵善：情報の1番と2番に私の意見が出ているんですけど、転入セットに必要なサービスが入っているかということですが、最初ハザードマップのQRコード等の話が出ましたけれども、転入セットで分厚いプリントを配る必要はないので、お金も掛かるし、その人によってこのサービスは要るけどこのサービスは要らないからゴミに出しちゃう人もいると思うんですね。だから全部資料にしてあげる必要はなくて、こんな物が有るよというのだけリストにしてもらって、そのリストの紙だけを渡して。それに関する資料だけ配れば紙の無駄がなくなります。

福井副会長：もしくはQRで自分で見る。

朴恵善：そうです。例えば年金の案内とか、外国人でも年金に加入できるんですね。お金を払わなくても年金に入れるのってわかりますか。私が初めて来た時、主人が留学で来たんですけど、埼玉では年金の案内が一切なくてやらなかったんですね。

全会長：今は多分制度が変わって、外国人の人達が入国した際にみんな年金と健康保険の説明がされて加入することになっているので、それは問題無いと思えます。

朴恵善：日本もどんどんいろいろないいサービスができていますけど、それをどう知らせるかということでやっぱり変わるじゃないですか。

全会長：それは行政が入国した際に登録する時にそういった情報が全部入って加入することになっているので、大丈夫だと思います。

朴恵善：それもあるし、新しく市からいいサービスがどんどん生まれますから、セットにリストを作って福祉関係とか、子どもの教育関係とか、うちの市から提供されるこんなサービスがあるよというのだけを最初手続きに来た区役所に、引っ越しの手続きとか、日本に入国した人が住民票を作るために来るじゃないですか。

全会長：されているんじゃないかなと思うんですけど。どうでしょう。

朴恵善：リストを作って見せてあなたが必要な物だけチェックすれば、その分の資料を渡しますとか。区役所もたくさんプリントしておく必要は無いですし、基本的なものだけ置いておけばいいかなと思います。

全会長：ありがとうございます。今皆さんの顔を見ていて思ったんですけど、まだ今日一度も発言されていない TAN さんは是非何かありましたら。

TAN KAH XING:最初の防災ですが、自分が思ったのは英語がそんなに得意じゃない人もいるかもしれないので、英語にするならやさしい英語でもいいんじゃないかなと思います。後は皆さんと同じ考えです。

全会長：ありがとうございます。やさしい日本語とやさしい英語ですね。何か他にありますか。その他でいろいろ上げてくださっていると思うんですけど。

ラクスマ デワヤニ：その他の3番と4番は私が言ったことなんですけど、3番は静岡ムスリム協会のアサディ・みわさんと私がこの間いろいろ話があったんですが、市とかにもお願いしているんですけども、結果的にはまだ難しいみたいでそれはちょっと残念なんですけれども、次は4番街の中に礼拝所があってほしいという希望については、他のところおおかた東京とかはドンキの中に礼拝所があったりとか、本当に街の中とか駅の中でも小さなスペースだけを作っていたら。すごく困っていますムスリムの人は。

全会長：基本的にどのぐらいのスペースが必要になってくるんですか。

ラクスマ デワヤニ：私^{わたし}たちは正直^{しょうじき}言うと自由^{じゆう}、ユニクロ^{しちやくしつ}の試着室^{しちやくしつ}でやってるんですよ。すごく苦^く勞^{ろう}していますので、多^た分^{ぶん}みんな分^わからないと思^{おも}うんですけど、そういう所^{ところ}があればすごく助^{たす}かります。なぜかとい^いうと、一日^{いちにち}5回^{かい}やらないとい^いけないので、お昼^{ひる}とかショッピングとか出^でかける時^{とき}には大体^{だいたい}3時^じとか5時^じにはやらなければい^いけない時間^{じかん}だから、最初^{さいしょ}はお祈^{いの}りの前^{まえ}に顔^{かお}を洗^{あら}ったりうが^{うが}いをしたりするじゃないですか。トイレでは床^{ゆか}が濡^ぬれて怒^{おこ}られたこともあ^あったんですけど、車^{くるま}いす用のトイレ^{よう}に行^いって家族^{かぞく}全^{ぜん}員^{いん}入^{はい}れるからそこで顔^{かお}や足^{あし}を洗^{あら}ったりしてから、服^{ふく}屋^やさんに行^いってちょ^ちっとだけや^やっているんですよ。だからデパートの中^{なか}とか、アピタの中^{なか}とかにあればすごく助^{たす}かります。

朴^{ぼく}恵^へ善^{ぜん}：静岡^{しずおか}県^{けん}で唯一^{ゆいいつ}あ^あったのは御^ご殿^{てん}場^ばアウトレ^ぼット。

ラクスマ デワヤニ：ありますね、でも遠^とい^いですね。

全^{ぜん}会^{かい}長^{ちやう}：でも今^{いま}伺^{わが}わないと私^{わたし}もそう^{みな}ですけど皆^{みな}さん分^わからないので、日^ひに何^{なん}回^{かい}お祈^{いの}りしてどのぐ^{ひつ}らいのスペース^うが必要^{ひつ}でとい^いうことが分^わかると考^{かん}えが変^かわ^わってくるんじゃないかと。

ラクスマ デワヤニ：そんな^おに大^おきくなくともいいんです。

叢^{そう}潔^{けつ}：私^{わたし}も以^い前^{ぜん}友^{とも}達^{だち}と一^{いっ}緒^{しょ}に静岡^{しずおか}に行^いった際^{さい}にも、華^{はな}やかな大^おきなスカーフ^{おお}をその場^ばで広^{ひろ}げてや^やっていたりして、と^とても新^{しん}鮮^{せん}な感^{かん}覚^{かく}で、あ^あみ^みん^んなそ^そのぐ^ぐらい毎^{まい}日^{にち}毎^{まい}日^{にち}頑^{がん}張^ばって^いるんだなと思^{おも}いました。

全^{ぜん}会^{かい}長^{ちやう}：学^{がく}校^{こう}ではどう^{どう}して^{して}いる^いる^るん^んで^でし^しょう^うか。

ラクスマ デワヤニ：学^{がく}校^{こう}は先^{せん}生^{せい}に言^いってお願^{ねが}い^かして借^かり^る部^へ屋^やが^ある^から。

全^{ぜん}会^{かい}長^{ちやう}：それ^{それ}に關^{かん}してはこ^こち^ちらでこ^こう^うい^いった方^{ほう}法^{ほう}で取^とり組^くんで欲^ほしいよとい^いって^いけたら^らいいかなと思^{おも}いますね。

ラクスマ デワヤニ：お願^{ねが}い^かします。

李^り重^{じゆう}楼^{ろう}：以^い前^{ぜん}静岡^{しずおか}空^{くう}港^{こう}に行^いった時^{とき}に礼^{れい}拜^{はい}所^{じよ}も設^せ置^ちされて^いてび^びっ^っくりした^した^たん^んです^すけれど^ども、割^{わり}と静岡^{しずおか}空^{くう}港^{こう}だと印^{いん}象^{しょう}的^{てき}にはや^やっ^っぱり中^{ちゆう}国^{うごく}・韓^{かん}国^{こく}・台^{たい}湾^{わん}のお客^{きやく}さん^{さん}しか^かい^いなく^くて、な^なぜ^ぜわ^わざ^ざわ^わざ礼^{れい}拜^{はい}所^{じよ}を設^せ置^ちして^いる^るのか^かと思^{おも}った^たん^んです^すが、割^{わり}と^とイ^いン^んド^どネ^ネシ^シア^あと^とかマ^マレー^れシ^シア^あの方^{かた}々^{がた}が^おお^お多^たい^い所^{ところ}が^あり^ます^すね。セ^セノ^ノバ^バと^とか。

ビハン ダヴィ ピエール：僕が前回言っていたと思いますけど、その他の6番、ファッションタトゥーをしている旅行者が温泉に入れるようにしてほしい。ファッションタトゥーをしているフランス人の友達が、大体ファッションタトゥーはダメで入れないですけど、一つ大丈夫な所があって、怪我した時のカットバン等で隠せば入ってもよいという話を友達から聞いたんですよ。それを全ての温泉でやったらどうかと、観光効果にもなるし。

福井副会長：おおっぴらにするのは市にやってもらうのは難しいと思うので、私たち通訳の人達がこそっと教えるのはありかもしれないですけど。

ビハン ダヴィ ピエール：市が運営している温泉もありますか。

望月課長補佐：市が運営しているものは山奥になってしまうんですけど、市が運営しているものは基本的に入ることは可能です。基本的に公的機関は拒めない部分があるので、ただ民間については及ばないものですから。今おっしゃった様にちょっと巻いてサポーターを着けるとか、そういうことで入ってもいいですかと聞いてもらってOKという所もいくつかあると聞いてます。話さないとなかなか分からないものですから、皆さんサービスについては体験してもらいたい、入ってもらいたいという気持ちが日本人の方はあるものですから、そういう形でファッションタトゥーがしてあるんだけどこうやったら入れますかと、それに応じてやっていただけることもあるので、ちょっと先に聞いていただければダメと言うことではないです。

ビハン ダヴィ ピエール：でもだいたいダメ。友達のタトゥーは足の部分でそんなに大きいものではないですけど、友達が言わなくていいと言いましたが、僕はまじめすぎるかもしれませんが、一応言ったほうがいいと思って、友達は日本語できないですから僕は静岡を案内していることで責任者なので、丁寧な日本語でやさしくお願いすれば大丈夫じゃないかと思ったんです。自分自身はツアーしてないからそういう経験がなくて、ぼっちりな日本語で丁寧に聞いたんですがダメ、本当にショックでした。場所は夢広場、久能山にあるすごくきれいな所なので、絶対フランスの友達に紹介したいと思って。三人で一人タトゥーが入ってる人にバイバイして二人だけで温泉に入るのは無理なので仕方なく三人で帰っちゃったんです。

全会長：そろそろ時間になったので、この自熱した議論はこの後交流会がありますので、そこでという形にしたいと思います。それでは、本日の協議は終了して、事務局にお返しします。

望月課長補佐：この中で市がやっている事だけ説明させてください。まず情報の1番ですけど転入セットっていうのが各戸籍住民課にいくんですね。例えば清水区だと、暮らしのガイドブックというのがあって、清水区は多言語です。葵区はこれだけ。こういった物を利用して、さきほど言ったQRコードを使ってここに飛ぶようにしようかなど、国際交流協会の方とお話ししながらやっていけたらなと思います。相談支援センターが開設しているので、その関係で今進めているところです。転入されたらセットでついてきます。ただ、先日英和の留学生何十人と話したんですけど、結局誰も見てないと言っていました。渡したんですけど知らないって言うので、結局興味が無ければ見ないですよ。本を渡しても、こんな漢字ばかりのものは見るわけないということなので、先ほどの意見を参考にまた考えたいと思います。多言語医療アプリもあるので、またそういったものも紹介したいと思います。自転車条例の関係、情報の3番ですが、野田先生に交通政策課と話をつないで、自転車を置いてはいけない場所が静岡にはあるんですけど、日本人が見ても分からない規則・規定とかそんなの分からない。置いていいのか悪いのかそれだけ先に言えばいいじゃない、という感じで意見をもらいながら改正したいということで、今お話をしています。4番のゴミ出しですが、これを多言語で全員に渡しています。ゴミアプリも今年できていまして、数か国の多言語なんですけれども、紹介ができるようになっていまして。今日はゴミの日だとアラートが出るという。6番のICTの活用ですけれども、静岡市の公衆無線LANというのを協議会が持っていて、いろんな所ですらにお願いをしています。また、静岡市で持っているオープンデータを無償で提供していますので、それを使ったアプリも開発されていて、観光者向けのSafety Tipsは地震の情報や病院の場所が分かるものとか、あとこれも無料で避難所ガイドというのがあるんですけど、後で食事会の時に見せたいと思いますが、自分の場所とすぐ近くの避難所が分かるんですね。その他の5番ゴミ箱を増やして欲しいというのは、基本的に静岡市はゴミの持ち帰りをお願いしていて、静岡市もうちの課を見ていただければわかると思うんですが、ゴミ箱を置いていません。袋を持って自分で持ち帰るか、決められた時間に捨てるということになっています。7番のストリートバスケットボールについては今静岡市には無いです。貸し体育館等でやっていただく形になります。12番の緑が少ないということなんですけども、緑の基本計画というのがありまして、そこで都市部の公園を増やす政策をやっています。また後で説明させていただきます。よろしくお願ひします。

中川主任主事：公共交通機関をご利用の方は机の上の紙にご記入の上、そのまま置いていっていただいて結構です。次回の会議の日程です。昨日協議会のラインで候補日2月13、19、20日三つ提示させていただきましたが、13日都合の悪い方いらっしゃいますでしょうか。19日水曜日はいかがでしょう。20日木曜日はいかがでしょう。では、2月20日の木曜日にしたいと思います。大丈夫でしょうか。次回第四回協議会は2月20日の

もくようび ばしょ かいじょう よてい こうりゅうかい あとみな いっしょ む
木曜日、場所はこの会場を予定しております。交流会はこの後皆さん一緒に向かいま
す。それでは以上をもちまして、第3回静岡市多文化共生協議会を終了いたします。

以 上